

令和7年度 第6回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和7年12月18日（木）13時00分～15時40分
2. 場 所：香川県庁 本館12階 大会議室
3. 出席者：委員（敬称略）
 - 委員長 白木 渡（香川大学 名誉教授）
 - 副委員長 末永 慶寛（香川大学 副学長・創造工学部 教授）
 - 委員 佐藤 好美（佐藤好美建築工房 主宰）
 - 福村 晃一（香川大学経済学部 准教授）
 - 國村 一郎（（一社）香川経済同友会 専務理事）
 - 玉置 哲也（香川大学創造工学部 准教授）

（委員6名出席）

4. 議 事

(1)再評価対象事業

再評価の審議対象3事業のうち2事業の詳細審議を行った。

①大規模特定河川事業 高瀬川水系 [香川県]

②高松港 重要港湾改修事業（玉藻地区） [香川県]

※なお、①の事業については現地調査を行った。

(2)再評価対象事業の審議内容

【再評価】

①大規模特定河川事業 高瀬川水系 [香川県]

1) 委員会の意見：事業の継続が妥当

2) 委員会での委員の意見概要

・現地調査及び詳細審議により、社会情勢等の変化、投資効果、進捗状況及び事業実施の必要性を確認した。

・用地確保や河川の移設等、長期間を要すると思うが、近年の大雨の状況を考えると、早急な河川整備が必要と思う。一刻も早く事業が進むよう是非とも頑張ってもらいたい。

②高松港 重要港湾改修事業（玉藻地区） [香川県]

1) 委員会の意見：事業の継続が妥当

2) 委員会での委員の意見概要

・詳細審議により、地質・地形調査に基づいた詳細な設計検討や、物価上昇等による事業費の増額と事業期間の延伸について、その必要性を確認した。

- ・県立アリーナの建設等サポート地域の開発が進んでいる所に、港湾整備も加わることで相乗的な集客効果を生むと思う。港湾整備だけが遅れることのないよう令和10年の完成を目指して是非とも頑張ってもらいたい。
- ・新設する栈橋に海藻等が付着することにより、ブルーカーボン等の環境負荷の低減効果も考えられる。

(3) 新規事業採択時評価対象事業

下記の事業について、県の事業主体が自ら行った新規事業採択時評価の妥当性を審議した。

③道路改築事業 県道円座香南線（中間南工区） [香川県]

(4) 新規事業採択時評価対象事業の審議内容

【新規事業採択時評価】

③道路改築事業 県道円座香南線（中間南工区） [香川県]

1) 委員会の意見：事業の実施が妥当

2) 委員会での委員の意見概要

- ・事業の必要性について確認した。
- ・徳島県美馬市周辺から本州へ移動する場合には、空港連絡道路、高松自動車道、瀬戸大橋を通行することが考えられ、広い地域での交通利用も期待できる。

— 以上 —